

2009年12月4日

日本最大級の環境展示会『エコプロダクツ 2009』へ セブン&アイ・ホールディングスが出展！ ～ 「エコでおいしいヒミツ」をわかりやすくご紹介 ～

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（以下、セブン&アイ HLDGS. 東京都千代田区、代表取締役社長：村田紀敏）は、12月10日（木）～12日（土）に東京ビッグサイトにて開催される国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ 2009」（来場者見込み：約18万人/入場：無料）に、昨年に引き続き出展いたしますのでご案内いたします。

記

【出展ブースの概要と取り組みのご紹介】

皆様にいつもご利用いただいております店舗の「エコでおいしいヒミツ」について、実際の商品や什器をそのまま展示して詳しくご説明いたします。また、循環型農業のセブンファーム（畑）の再現等、どなたにもわかりやすいブースとなっております。

さらに、単に見学するだけでなく様々な体験を通じて理解を深めていただくために、「画面が飛び出す！AR(拡張現実)ステージ」「セブン-イレブンの子ども店長体験」「種まきワークショップ」等、お楽しみいただける企画も満載。見所をわかりやすくまとめた「ワークブック」もご用意しております。

1. “食”に関する環境の取り組み

セブン-イレブンでは、製造～配送～販売の各工程で様々な取り組みを行っています。

- ・炊飯工程の見直し等により、おいしさと保存性を同時に実現したチルド弁当。
- ・トランス脂肪酸を低減させたパンやペストリー。・・・他

2. 最新の環境配慮型店舗

特設階段から、普段見ることが出来ないセブン-イレブンの屋根の「エコなヒミツ」もご覧いただけます。

- ・太陽光をふんだんに店内に取り入れ、基本的に日中照明を使わないトップライト。
- ・お店で使う電気をお店で発電する太陽光発電や消費電力を大幅に削減したライン型のLED照明。
- ・店内照明効果を促進するセラミック床タイル。
- ・ヒーターを使わずにガラスの曇りを取る冷蔵ケース。・・・他

3. セブンファーム

生産者と販売者が協力して取り組む食のリサイクル・ループ＝セブンファームをご紹介します。

- ・イトーヨーカドーの食品残さの一部は、専用の回収車で堆肥工場へ運ばれ堆肥になります。
- ・そこで作られた堆肥を、千葉県富里市にある直営農場セブンファームの豊かな土作りに利用。
- ・セブンファームで収穫された作物は、再び地元のイトーヨーカドーで販売されます。

4. セブン-イレブンみどりの基金

セブン-イレブン加盟店と本部が一体となって“環境”をテーマに社会貢献活動に取り組んでいます。

- ・セブン-イレブンの店頭募金と、セブン-イレブン・ジャパンの寄付金を基に活動を行っています。
- ・環境NPO支援事業、自然環境保護・保全事業、環境美化事業、災害復興支援事業、等。
- ・一例として大分県「九重ふるさと自然学校」での「トキがすめる里づくり」の取り組みをご紹介します。

以上

ご参考

【セブン&アイ HLDGS. 出展ブース(画像はイメージです)】東京ビッグサイト 東5ホール

- ブース外観 -

- 本物の土と作物 セブンファーム -

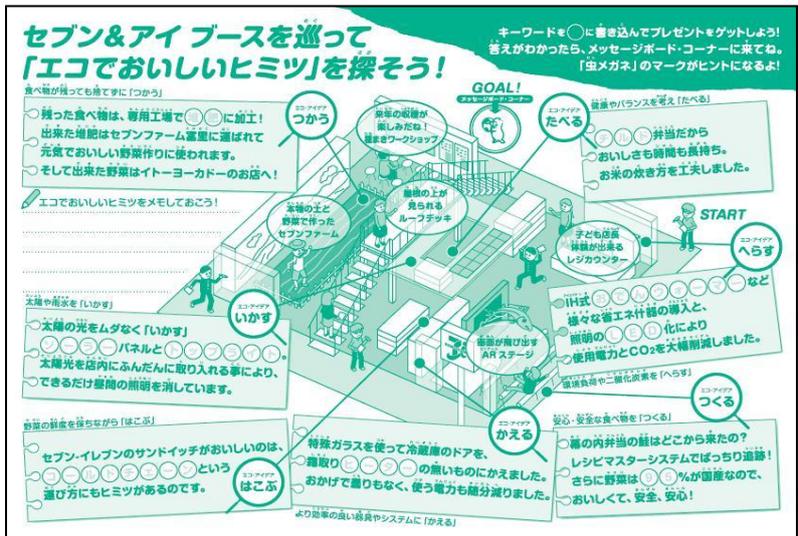


- 画面が飛び出す！AR(拡張現実)ステージ

- トキが住める里 九重ふるさと自然学校の紹介



【見所をわかりやすくまとめた「ワークブック」(小中学生向き)】



「エコプロダクツ 2009」の概要

- ◆開催名称：問い直せ、日本の力 ソーシャルパワー元年 エコプロダクツ 2009 (第11回)
- ◆会期：12月10日(木)～12日(土) 10:00～18:00 *12日は17時終了
- ◆会場：東京ビッグサイト 東展示場1～6ホール
- ◆入場料：無料
- ◆来場者見込：180,000人(前回実績：173,917人)